



▲全日本チンドンコンクール

全国のプロのチンドンマンが、その技とアイデアを競う全国唯一のコンクールです。松川べりの桜が咲き誇る中、ど派手な衣装に太鼓や三味線などが鳴り響くチンドンパフォーマンスが楽しめます。



<https://www.ccis-toyama.or.jp/toyama/cin/top.html>



◀雪の大谷

富山市は、立山黒部アルペンルートの玄関口。立山黒部アルペンルートの全線が開通する4月、通称「雪の大谷」と呼ばれる区間では、高さ20mに迫る雪の壁の中を見上げながら歩くことができます。



▲岩瀬曳山車祭

「けんか山車」という異名でも親しまれる歴史と伝統ある祭り。昼は、勇壮に町を練り歩き、夜には、「曳き合い」と呼ばれる山車同士のぶつかり合いが行われます。

富山の恵み



●ます寿司

富山産コシヒカリと桃色のサクラマスを手で包んだ押し寿司で富山を代表する名産品です。享保2年、富山藩士が藩主に献上、さらに8代将軍徳川吉宗に献上して絶賛を受けたのが起源とされています。市内のます寿司店では、それぞれの店に伝わる伝統の味を守っています。



●シロエビ

富山湾に春の訪れを告げるシロエビ。透き通った美しい姿から「富山湾の宝石」と呼ばれています。身は、やわらかく上品な甘みが口の中に広がります。



●山菜

格別な風味の山菜は、豊かな自然がくれた贈り物。すすたけ、こごみ、タラノメなど中山間地域で採れる名物です。



●ホタルイカ

幻想的な光を放ちながら、群れをなして浮遊する「富山湾の神秘」ホタルイカ。旬の食材として富山の春に欠かせない味覚のひとつです。

春の歳事記

4月上旬
全日本チンドンコンクール

5月17日・18日
岩瀬曳山車祭

5月下旬
猿倉山フェスティバル

5月3日
越中八尾曳山祭

5月下旬
売比河鵜飼祭

5月31日～6月2日
日枝神社大祭



春

Spring

響きあう、息吹き of 鼓動。

●松川の桜

平成2年に桜の名所100選に選定された松川の桜は、お花見シーズンには、たくさんの人で賑わいます。また、遊覧船も運航されており、水上から兩岸の桜並木を眺めることができます。



▲立山山麓トレッキングコース

初心者から上級者まで利用できる様々なトレッキングコースを整備。富山平野を見下ろす眺望やマイナスイオンたっぷりの森林浴、野鳥観察などを楽しめます。

<https://www.tateyama36.co.jp/>



◀越中の稚児舞(熊野神社)

8月25日に、神社拜殿前の仮設舞台で奉納されます。8～9歳の男子が「銚の舞」など7つの舞を演じます。宝永元年(1704年)に、村に病気が流行し、それを治めようとして奉納したのが始まりといわれています。



▲岩瀬浜海水浴場

富山の恵み



●アユ

富山湾から遡上する天然のアユの味わいは、富山の速い川の流れる流れにより身が引き締まり絶品と言われています。また、市内を流れる神通川では、アユ釣りのシーズンになると毛針釣りや友釣りをを行う人で賑わいを見せています。



●八尾和紙

コウゾの木から作られる、強く美しい八尾和紙。元禄年間、富山藩の売薬の奨励とともに、薬袋紙の需要が八尾に集中したことが始まりです。江戸時代から続く染色技法は、今も受け継がれています。



●細工かまぼこ

富山の細工かまぼこは、昔からお祝いの品にかかせないもので、結納や結婚式の引出物として喜ばれています。



●昆布メ

魚の保存方法の一つとして古くから親しまれている郷土料理です。昆布の旨味が魚に移り、普通の刺身とは違った深い味わいです。

夏の歳事記

7月下旬
水橋橋まつり

8月25日
熊野神社の稚児舞



夏

Summer

空と森に、心解き放つ。

● 割山森林公園 天湖森
(てんこもり)

令和6年にリニューアルした細入地域にあるアウトドア施設。グランピングやソロキャンプなど多様なキャンプスタイルに対応し、大自然の中でバーベキューや釣り、パークゴルフが楽しめます。



▲五百羅漢(長慶寺)
 呉羽山にある長慶寺境内に整然と並ぶ五百羅漢は江戸時代、50年の歳月をかけて作られたもの。すべて違う表情や仕草をしており、訪れる人の心を和ませくれます。秋は紅葉スポットとして人気があります。(紅葉時期:11月中旬)



◀とやまスローライフ・フィールド
 丘陵地に広がる畑地で、遠くは立山連峰や富山湾までの素晴らしい景色の中に、各種講座が開かれる交流施設を備えた全241区画の市民農園です。日常生活から切り離され、ゆったりとした時間のなかで、野菜作りや収穫体験などを楽しめます。

<https://www.satoyama-club.org/siminnouen/>



▼収穫体験の様子



富山の恵み



●呉羽梨
 呉羽丘陵を中心に栽培されている良質な梨。果汁たっぷりで甘みも強いのが特長です。



●コシヒカリ
 米どころ富山の象徴ともいえるコシヒカリ。首都圏等都会でもおいしいと好評です。



●池多りんご・山田りんご
 樹上で完熟させることから、糖度が高く、果汁が多いと評判です。



●とろろ昆布
 富山市は、昆布の支出金額日本一。昆布は、鍋物や煮物のほか、刺身や山菜の昆布メ、とろろ昆布のおにぎりなど多くの料理に使用され、富山の食に欠かせない食材です。

秋の歳事記

9月1日~3日
 越中八尾おわら風の盆

9月下旬
 富山まつり

9月中旬
 LIVING ART in TOYAMA

10月中旬
 トヤマ・パフォーミングアーツ・フェスティバル



秋

Autumn



おもい結んで、実る夢。

●越中八尾おわら風の盆
江戸時代にはじまったといわれ300年余の歴史がある「おわら」。9月1日から3日間開催される「越中八尾おわら風の盆」では、ぼんぼりのともる坂の町で、揃いの浴衣、法被に編み笠を被った踊り手が、唄、囃し、三味線、胡弓、太鼓の音色にあわせ風情豊かに踊ります。



◀エコリンク

グランドプラザの冬の風物詩「エコリンク」。カップルや家族連れが気軽にスケートを楽しみます。特殊な樹脂を使用しているため氷を張るための電気が不要で、運営費を大幅に削減できます。

▼とやまスノーピアード

富山駅周辺に設置された光のオブジェが、幻想的な光の空間を演出します。また、城址大通りのLED樹木イルミネーションは、あたたかな光で行き交う人々をロマンティックな気分にさせてくれます。



富山の恵み



●寒ブリ

富山湾の冬の王者といわれるブリ。初冬、富山湾では「ブリ起こし」と呼ばれる雷鳴とともに、ブリ漁の最盛期が始まります。1年で最も脂がのり、身が締まったブリは刺身や照焼きはもちろん、ブリ大根やしゃぶしゃぶなどにしても、その美味しさを堪能できます。



●ズワイガニ

暗赤色が、高級感を漂わせるズワイガニ。身肉はしっとりとして甘く、旨味が強いのが特徴です。特に味噌の味は絶品。茹であげ、刺身などにして食されています。



●酒蔵と地酒

北アルプスの雪解け水と優れた酒米を使用した富山の地酒は、さわやかで、香りが高く、全国で人気があります。



●啓翁桜

真冬に出荷される啓翁桜は、山田地域の特産品として知られる生け花用切り枝。平成7年から本格的に栽培がスタートして以来、全国各地の家庭にひと足早い春を届け続けています。

冬の歳事記

12月上旬～1月下旬
とやまスノーピアード

12月下旬
牛岳温泉スキー場開き

2月中旬
越中八尾冬浪漫(隔年開催)

12月中旬
立山山麓スキー場開き

2月上旬
牛岳スノーフェスタ



冬

Winter

恵みさまざま、寒に咲く。



●立山山麓スキー場

らいちょうバレーと極楽坂からなる立山山麓スキー場。リフトで山頂へ降り立つと、雪を頂く雄大な立山連峰と富山平野の大パノラマを眺めながら滑走することができます。